

地平線

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部機関誌

2018年8月25日 348号

全日本港湾労働組合関西地方建設支部

〒552-002

大阪府大阪市港区築港 1-12-27

電話 06-6572-2105 / FAX 06-6574-5648

kensetsu @ crux. ocn. ne. jp

建設支部第46回大会をむかえることになりました…

活発なご意見・実りある討論をお待ちします！

支部書記長 野崎 健

1. 今年一年は本当に大変な一年でした。6月に、大阪の北部で震度6の地震が起きて、関西全域の交通網が一日遮断されて大混乱になって、23年前の「阪神淡路大震災の記憶」が鮮明によみがえりパニック状態になりました。

この地震の余韻も冷めぬまま今度は西日本全域に豪雨が襲い大惨事となりました。雨の最初のころは京都が危ない、渡月橋が流れるかもしれないといったニュースだったのですが、愛媛、岡山、山崩れ、土石流、さらに広島・岡山の堤防の決壊と、大洪水といった具合に死者の数も当初の50人が報道のたびに100人、150人、200人そして最終的には250人近くに達しているようです。



豪雨が明けると今度は日本全国の各地で連日35度を超える「猛暑日」が始まって観測史上

初めて、41度1分とかいう記録を作りながら1カ月以上も続いて、「いつあけるか灼熱地獄」で「熱中症で死者」が百数十名にのぼり「命に係わる暑さの殺人猛暑」も連続1カ月単位で続くという今までに体験したことのない未知のゾーンになりました。ちょうど台風12号が近づいてきて日本列島を横断して高気圧を分断するというので「永遠に続く猛暑日」も中断しましたが、そのあと連続して台風が襲ってきて心配な日々が続きました

それにしても「災害列島日本」「日本がこわれていく」というのは国民全体の共通意識になっているようです。50年ほど前、小松左京の「日本沈没」という映画がありましたが、えらい荒唐無稽のこと考えているなと思ったものですが、神戸の地震・東北の地震を体験して、昨今の災害をみていると、「まったくあり得ない話」ではなく「異様にリアリティのある話」におもえてきています。

世界に目を向けると、ヨーロッパも45度-47度という猛暑に襲われ、アメリカでは桁外れに大規模な「山火事」が多発して、規模は日本では考えられないレベルのようです。賛否両論があるようですが「地球温暖化問題」人間の生き方、生活を支える生産活動のありようが影響していて「人類の生存の基盤を崩しつつある

ということは否定できないように思います。「二酸化炭素排出規制」などは考えないといけないことだと思います。「人類が生き延びていける環境」を守るというのは「人類が努力」していかないといけないことであり「酷暑の夏を生き残る」課題と連動しているとおもいます。

環境だけでなく、世界はトランプがアメリカの大統領に当選して以来「アメリカファースト」を唱え、国際協調を揺るがし、政治も経済も大激変と大混乱に陥っています。世界各国は「アメリカに頼らずに、それぞれが自立した道」を模索しはじめていますが、日本の針路も新しい時代の波に合わせて行けるか難しい時代になっていますが、「アメリカ従属一辺倒」と「アベノミックス」とか言っているうちに日本社会の衰退と世界経済における「日本沈没」は進んでいるようです。



2017 釜ヶ崎メーデー

先ゆき不透明な世界にあって、リーマンショックから10年、そろそろバブルの再崩壊も心配されるころですが、何が起きても驚かずやっていけるような基盤をもって、私たちの日々の労働と日々の生活、毎日の日常が無事に過ごせるように、仲間たちへの関心と配慮ができるような組合でありたいと思います。

2、わが支部は1969年5月結成以来49年、いろいろな経緯を持って今日をむかえています。来年には50周年となります。その間山あり谷ありで、いろいろな争議も経験し「働

く者の権利」を大切に「労働者の信頼と団結」をもっとうにして、今日まで頑張ってきました。「50年前って生まれていなかった」とか「あまりにも世の中変わってしまっている」とかあるのですが、長年やっていると、いいこともあり、悪いこともあります。まだまだ頑張れるという高齢者の想いもあって、50年の節目を組合員こぞって語り合える機会を持ちたいと思い、簡単な記念交流会を構想しています。すこし時間があるので皆さんのご意見でいい企画にしていきたいと思っています。

蛇足ですが49周年がどうして46回なのかということですが、1960年代後半、肥後橋にあった三座設計事務所⁶⁹で起きた解雇撤回闘争を闘っていた労働者が総評の尾上オルグを通じて戦闘的な全港湾加盟を希望し、当時の労働運動全体の課題であった「零細の職場の未組織労働者の組織化」という視点から「釜ヶ崎の日雇い労働者の組織化」に合流して建設支部を1969年5月23日に西成市民館で結成したのですが、1970年・1971年は混沌としたカオス状態が続いて1972年になってようやく形式的な形をつくって軌道に乗ることができたといういきさつがあります。さまざまなエピソードが山ほどあるのですが、今後に生かしていければと思います。

支部設立・西成分会発足後すぐに「あいりん総合福祉センター」が「あいりん公共労働職安と西成労働福祉センター」を包摂して「世界一を誇るマンモス労働寄り場」として開設され、



2018 建設支部花見

日本の高度成長を支える建設労働者の市場として機能してきました。

西成分会はここで働く日雇い労働者の「無権利状態の改善運動」を50年近く続けて今日にいたっています。最盛期2万4千人という登録者(通常1万5千人)を誇ったこの労働市場もバブル崩壊・産業構造の転換・情報技術革新・労働者の高齢化やホームレス化が進み、現在では1千人を切る状態です。また耐震問題が言われるようになって「建て替え」問題が起きて、来年度から南海高架下への仮移転がまっています。それとともに新今宮駅前の活性化事業として、最近のインバウンド対策として「新築ホテルラッシュ」や「高齢者介護施設」建設など「新都心への再開発」として街並みも大きく変わろうとしています。労働者の高齢化と労働世界からのリタイヤー。生活保護適用の解禁と「ホームレス自立支援法」「生活困窮者支援法」などの社会問題を消化しながら労働市場の再編が進む中で、ひとつの時代の区切りとして、新しい時代の「労働市場としての再建」が構想できるのか見守っていききたいと思います。

3、10年越しの懸案である「大阪設備技研の貸付金問題の処理」を数度にわたり、財政部長提案として数年越しの大会提案を重ね、今大会での賛否をへて最終処理を実行したいと思っています。この問題は建設支部にとって大変大きな問題で、このことで大きな組織的打撃とダメージを受けました。組合員間の亀裂や意見の相違・対立も生まれました。

しかしさまざまな議論を通じて、当時の執行部が「責任をとる」という形で、暫定的に事態を收拾して、問題を「塩漬け」状態にして置いてくれたことで、関係ある組合員がこの問題にそれぞれ自由に意見が言える状況になっています。

この問題を「総括する」といって「統一見解」にまとめ上げる、ということよりも、かりにそうしたとしても、それも「個人的見解」の域を超えないものになってしまうと思うので、それ

ぞれの組合員がこの問題から「教訓」を汲み取って討論・意見交換を深めてきました。今後とも自由に意見交換の場がもたれるようにしておくことが大切かともおもいます。

ただ一言で言う働く者の団結の絆である労働組合もいろいろ奥が深い問題ですが、経営という問題も奥が深く係わるときにはもつと勉強が必要で、とくに「お金」が絡むと難しい問題に直面します。それでも「桜井分会問題-大阪設備技研問題」は「負の遺産」ではありますが、建設支部が経験した偉大な財産でもあります。

この問題に一区切りつけることによって、反省を教訓としながらも「自主運営分会」に対する「支援システムの再構築」について議論も再開していきたいとおもいます。



4、二年前の大会、太平ビルサービス分会の「組織問題」にどう対処していくかという厳しい状況を迎えた中で、大胆な方向性を打ち出し困難を乗り越え、そしておおむね3年単位で安定軌道に乗るような方針を提起してきました。

当初年から

- ①低賃金労働者(パート・非正規)の組合費の大幅減額の実施。
- ②専従役員制を解消して主にボランティアでの役員運営。給与制でなく「活動費」制。
- ③全港湾本部・地本との登録人員のと上納組合費の整理
- ④組織運営の・スマートな運営で省力・軽量化

などなどで大幅な組織改編をおこないました。

昨年度大会で2年目は、前年度の方針を継続して赤字財政も200万前後に抑えた予算に収めるようになって、ある程度「持続可能な体制」に近ずけることができました。今年度も継続して、ある種安定感のある組織運営ができるようにしたいと思います。

この2年間の太平ビルサービス分会の原則的な組合運動、たび重なる労使交渉。個別の職場要求などで仲良く活発に活動を続けています。分会のホームページが作成され新しい活動もはじまっています。

話を身近なものにすると、政府は今年度の最低賃金を全国的に3%おおむね26円引き上げる意向を表明しました。大阪では909円が27円引き上げの936円になります。和歌山では現行777円が26円引き上げの803円となる予定です。不安定雇用労働者がふえて1000万から2000万人の労働者がこの最低賃金に直接影響をうける層となっているので、だいじなことです。

とくに建設支部にとって、いま一生懸命活動していただいている太平ビルサービス分会の組合員にとって、「最低賃金の引き上げが経営を圧迫する」というようになったといいだすようになった経営との交渉に臨むにあたって、しっかりと社会的環境とか会社のこととか勉強したり、理論武装をしていく必要があります。

春闘・夏の一時金・冬の一時金・職場の個別要求を大衆団交として積み重ねる中で、すこしずつ成果を上げていますが、これからも地道に続けていきたいと思います。

宝塚、樋口、堺化学、日経、フジタなどの支部の他の分会も並行して職場ごとに交渉を進めています。三座・KFなどの自主運営分会も経営活動と職場の環境の改善を進めています。個人加盟の仲間もそれぞれの立場でがんばっています。



50周年にむけて

すこし気の早いことですが建設支部は来期50周年をむかえます。平成天皇の退位と新天皇の即位。「新元号の制定」と安倍政権による「憲法改正の発議」が予定され歴史の大転換になるようです。

建設支部は結成時から50年、不安定雇用の「非正規」といわれる「立場の弱い労働者」である日雇い労働者 下請け・臨時・パートなどを受け入れるという組織作りや経営基盤が弱い零細企業の労働者の生活向上をめざしてきました。「職場に労働組合を!!」「働く者に権利を!!」「安心できる仕事と生活を!!」、悪化する労働環境の中では「働く者の相互信頼」「仲間を大切にする」「団結して会社に要求する」。一人一人の仲間が働くことを通じて社会に貢献している。それぞれの思いと働く者の誇りが守られる職場にしていかなければなりません。相互扶助・助け合いなどが、厳しい時代に社会的課題として、いたるところで必要になってきています。社会の閉塞感がまし、身分的にも不安定な環境でなかなか会社側に正当な要求や意見が言えないようになりつつありますが、「我々のささやかな闘いの50年」をOB?OGを交えて、多くの仲間とともにむかえればいいと思います。いろいろなアイディア。意見をお受けしたいとおもいます。

第26回建設支部大会。みなさんの活発なご意見・実りある討論お待ちしております。

辺野古現地行動に、参加をお願いします！

沖縄県知事翁長雄志氏が8月8日急逝されました。闘病中にも拘わらず7月27日には、焦点の「埋め立て承認撤回」について、県として手続きに入ることを力強く表明されました。ご家族は健康状態から声明・記者会見を大変心配されていたとのこと。私などは、まだまだ元気、大丈夫などと思ったものです。ご冥福をお祈り申し上げます。

「土砂投入を許さない 8・11県民大会」に向け、オール沖縄会議は6日から10日までゲート前集中行動を取り組みました。連日250名から300名を超える方が集まり、灼熱のアスファルト上に座り込みました。この期間中、なぜか工事車両の搬入はありませんでした。8月3日には500台もの車両が入っているのに？



防衛局が8月17日から埋め立て用土砂を2-2工区に投入すると県に通告しているのに、16-18日を後半の集中行動日として参加を呼び掛けています。今日(16日)は、250名以上の皆さんが参加され、工事車両は1台も来ませんでした。

その土砂投入も政府は「喪に服す」と延期するそうです。ゲート前集会では、国が本心でそんな配慮をするはずはないとの発言が続いています。

8・11県民大会には、台風襲来の中、7万



人々の人々が辺野古基地建設断念、翁長知事追悼の思いで集まったと思います。大会が始まると立上がって前に詰めるよう指示がある位、続々と集まったということです。1995年少女暴行事件糾弾の大会と同じような県民の怒りを感じた大会だったと地元紙は報じました。

新基地阻止を左右する県知事選挙は9月30日です。この報告が届く頃、翁長県政を継承する知事候補が決まっているでしょう。県民のあきらめを誘い、争点隠し、企業、宗教での締め付け、補助金で吊るなどのあくどい手法に「ウチナンチューの怒り」が必ず勝利するでしょう。

支部の皆さん、地元の皆さんが心置きなく選挙活動ができるよう、現地・ゲート前と海上行動を支えようではありませんか。半日でも、1日でも現地行動に参加していただくようお願いします。



全港湾建設支部 第46回定期大会

します。

と き 2018年9月30日(日)

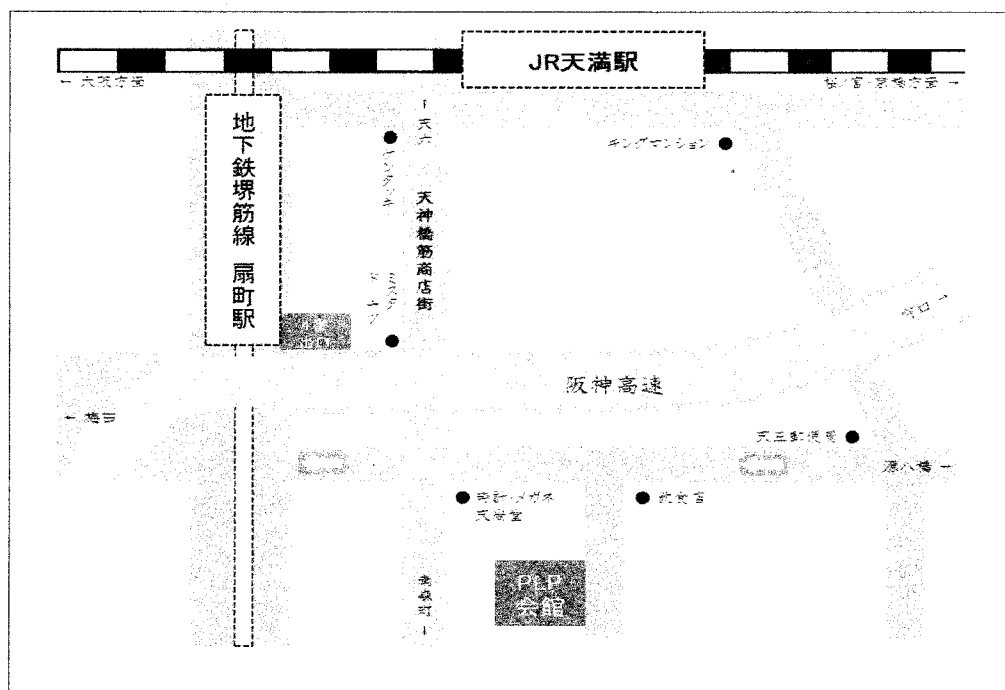
10:00～

ところ PLP会館

(最寄駅: JR「天満駅」

地下鉄「扇町駅」)

連絡先 06-6351-5860



これからのスケジュール

- 8月29日(水)～30日(木) 10時 全港湾関西地本第73回定期大会(第一センター)
9月3日(月) 15時 太平ビルサービス分会執行委員会 地本
18時30分 建設支部執行委員会 地本
9月12日(火)～13日(水) 9時 全港湾第89回定期大会 沖縄シーパレス
9月30日(日) 10時 全港湾建設支部第46回定期大会 PLP会館
10月26日(金) 17時 太平ビルサービス分会第45回定期大会
ヴィアーレ大阪